

お久しぶりです。皆様いかがお過ごしでしょうか？

まずは先日起きた新潟の大地震や、度重なる台風に見舞われた被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

ショックで亡くなった方々があんなにいらっしやるなんて、ものすごい地震だったんだとニュースを見て思いました。人間の力は自然の前にはただただ無力であると痛感いたします。

さて、建築バカ小林一郎のうんちくチラシも今回で13回目。さあ今回は何にしようかなと思ひ、また締め切り当日の真夜中に書き始めました。そう言えば昔「塀の中のこりない面々」という本がありましたね。思いをはせれば今の建築業界も正にまたしかりなのです。



社長 小林 一郎



建築バカ 小林一郎の 家造り道 Vol.13

建築業界のこりない面々！

私は大工時代たくさん家の腐朽を目の当たりにしてきました。現在一部の大手住宅メーカーなどでは、次世代の売れる商品開発に追われており、昔の苦い経験を全然生かせずにもっと同じことを繰り返してあります。いや今はその時よりもひどいのでは？と心配になります。



例えば外壁や内壁の仕上げなどが古き良き時代に戻り、塗り壁などが直直とされているのを見ると心が和む思いがいたします。が、そこに大きな落とし穴が！ちよっと大げさに書きすぎましたが、「昔の苦い経験」がちよっとも生かされていない...とは？

雨より恐い壁内結露！

そうもつたいぶらないで本題に入りましょう。(^^) 近年断熱材やペーパーガラス等の普及や改良により、今の家は20~30年前の建物よりも冬暖かく夏涼しい快適な家造りになっています。が!!なぜか結露対策は昔のまんま。そのようなことを現場でよく見かけるのです。有名な最大手メーカーに特に多く見られます。今の家は、断熱効果が良いはずですが、壁内結露は多くないはずなんです。そうなんです、昔の苦い経験とは結露による家の腐れです(泣) しかも今は、昔では考えられない夏までも逆の結露！つまり外が暑く、内部がクーラーで冷やされて結露が一年中起きています。我々のような名もない工務店が知っている現象を、大手やフランチャイズの本部が知らない訳があります。



冒頭に書きましたように人間は自然の前では無力に近いのですが、自然と共存していかなくてはなりません。外壁をシックなぬり壁材でする場合など我々ホームクリエでは、塗る仕上素材によって工法も変えております。水の分子は通さないが、水蒸気分子は外に出してくれる特殊な外断熱材(図2)を使用したりそうでない塗り素材であっても通気層を設けたりして家の寿命を延ばす工夫をしています。詳しくは私に会いに来て下さい。ゆっくり丁寧にお話します。

いつまでも無名の工務店でありたい。

「この馬の骨」

「この馬の骨」でしかできない事をやっていきたい。ではなぜ一部の大手やフランチャイズの本部はそのようにしないのでしょうか？以前ウチに書いたことがありますが、粗利を45~50%も稼ぎ出さないと会社運営できないメーカーもあるくらい、採算が合わないのです。実際の社員自身はわかってはいるはずなのですがやりたくてもやれないのです。

ではどう言ってるホームクリエの見積りは??正直に言つと粗利30%で見積もつております。ずいぶん儲かるねと言われちゃいます。ですが、なかなかその粗利はできません。そのまま出たら儲か建つ、かな??



我々ホームクリエでは素材にこだわりの無垢材と土・紙そして、塗料もリボス社などの自然のものを使って家を造っています。特に珪藻土などは結露対策に有効で、また住む人の健康にも一役担っています。その珪藻土とは...? とまだまだ書きたいことはたくさんありますがそれは来年のウチクチラシで! あつ、それから今回のチラシに書いておこう思ったことがありました。以前に工事をさせて頂いたたくさんのお客様から、「最近のホームクリエのチラシは新築が専門のような書き方ですネ」、「リフォームや細かい仕事はやめちゃったの?」という電話やメールを頂戴しました。「次のチラシに書いておいた方がいいんじゃない?」とのことだったので... お言葉に甘えて書かせて頂きました。もちろん細かい仕事もやってます(^^)

最近ではウッドデッキがちょっぴり人気です。お待ちしておりますね!

最後に紹介します。ホームクリエのゆかいな仲間たち!



ホームクリエ 0120-469-244

羽村市羽西2-6-9 ☎042-579-7878

是非、ホームページを開いて見て下さい。楽しい写真と、施主さんのコメントも入れて載っています。実は、このホームページもわたたくしのお客様が作ってくれています。

URL <http://www.home-crea.co.jp/>
E-mail homecrea@d6.dion.ne.jp

至福生・小作駅・新奥多摩街道・ステーション G.S.・ジョナサン G.S.・小作坂下

ハイフンを忘れずに入れてね (^^)